



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL <https://www.gunei-chemical.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員コーポレート本部長 (氏名)丸山 克浩 (TEL)027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	23,988	10.3	1,437	△31.3	1,615	△29.7	1,119	△29.4
2022年3月期第3四半期	21,742	18.7	2,093	44.7	2,298	44.1	1,584	44.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,426百万円 (13.0%) 2022年3月期第3四半期 1,262百万円 (△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	168.87	—
2022年3月期第3四半期	239.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	54,834	45,695	80.5
2022年3月期	54,680	44,899	79.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 44,123百万円 2022年3月期 43,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	40.00	90.00
2023年3月期	—	45.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	32,000	8.8	2,000	△19.7	2,200	△21.9	1,600	△17.1	241.40	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,998,308株	2022年3月期	8,998,308株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,370,540株	2022年3月期	2,370,223株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	6,627,927株	2022年3月期3Q	6,628,351株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウィズコロナ政策への転換により欧米を中心に回復傾向となりましたが、ウクライナ情勢の長期化や部材供給不安、世界的な金融引締め等により景気減速懸念が広がりました。

わが国経済におきましては、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の両立が進み、緩やかな回復基調にありました。しかしながら急激な円安の進行及び資源価格や物価高騰、世界的なサプライチェーンの混乱による部品・半導体不足など厳しい状況で推移いたしました。先行きに関しても各国の高インフレ対策による景気減速の懸念や地政学リスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

化学品事業は、自動車関連向け樹脂は、半導体などの部材不足が改善傾向にあるものの減産の影響を受け、住宅関連向け樹脂も建材価格高騰の影響から低調に推移しました。一方で環境関連向け高機能繊維は溶剤回収用途が引き続き堅調に推移し、建設機械向け及び工作機械向け樹脂は、輸出関連向けを中心に需要が拡大しました。電子材料関連向け樹脂は年度後半ではディスプレイ関連において在庫調整の影響が出始めたものの需要は堅調に推移しました。また、原材料価格高騰分の価格是正を一部行った結果、前年同期と比較し増収となりました。

食品事業は、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きを見せ、巣ごもり需要終息により酒類向けは減少しましたが猛暑の影響で清涼飲料向けは回復傾向となりました。また、原材料価格高騰分の価格是正を一部行った結果、前年同期と比較し増収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みの売上高で推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は、前年同期比10.3%増加の23,988百万円となりました。利益面では、高付加価値製品の拡販や工程改善によるエネルギー消費低減をはじめとする経費削減を実施いたしましたが、上昇し続ける原材料価格をはじめとしたコストアップの影響を受け、営業利益は前年同期比31.3%減少の1,437百万円、経常利益は前年同期比29.7%減少の1,615百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比29.4%減少の1,119百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ154百万円増加し、54,834百万円となりました。主な要因は償還による有価証券の減少や確定給付企業年金への移行による拠出等により現預金の減少があったものの、原材料高騰により棚卸資産が増加したことによります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ642百万円減少し、9,138百万円となりました。主な要因は原材料高騰等による買掛金の増加があったものの確定給付企業年金への移行による拠出で退職給付に係る負債が減少したこと等によります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ796百万円増加し、45,695百万円となりました。主な要因は配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したこと及び円安により為替換算調整勘定が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年7月29日発表の通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,994	6,045
受取手形及び売掛金	8,624	9,951
有価証券	3,700	2,000
商品及び製品	2,376	2,620
仕掛品	798	938
原材料及び貯蔵品	1,548	2,197
その他	299	335
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	24,338	24,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,052	23,244
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,924	△17,250
建物及び構築物(純額)	6,127	5,993
機械装置及び運搬具	33,193	33,891
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,889	△30,718
機械装置及び運搬具(純額)	3,304	3,172
土地	7,969	7,969
リース資産	765	841
減価償却累計額及び減損損失累計額	△104	△151
リース資産(純額)	660	690
建設仮勘定	682	837
その他	3,098	3,162
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,680	△2,776
その他(純額)	418	385
有形固定資産合計	19,164	19,050
無形固定資産		
のれん	185	74
その他	74	74
無形固定資産合計	259	148
投資その他の資産		
投資有価証券	9,718	10,364
その他	1,292	1,274
貸倒引当金	△93	△90
投資その他の資産合計	10,917	11,548
固定資産合計	30,341	30,747
資産合計	54,680	54,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,811	5,345
未払金	1,739	1,337
未払法人税等	404	0
賞与引当金	397	238
その他	147	307
流動負債合計	7,499	7,230
固定負債		
環境対策引当金	5	5
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	962	428
リース債務	633	664
その他	656	787
固定負債合計	2,280	1,908
負債合計	9,780	9,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,647
利益剰余金	17,331	17,887
自己株式	△6,228	△6,229
株主資本合計	41,793	42,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,500	1,439
為替換算調整勘定	81	341
退職給付に係る調整累計額	44	37
その他の包括利益累計額合計	1,625	1,818
非支配株主持分	1,480	1,572
純資産合計	44,899	45,695
負債純資産合計	54,680	54,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	21,742	23,988
売上原価	16,549	19,402
売上総利益	5,192	4,585
販売費及び一般管理費	3,099	3,148
営業利益	2,093	1,437
営業外収益		
受取利息	22	31
受取配当金	92	100
受取補償金	35	-
その他	67	58
営業外収益合計	217	190
営業外費用		
支払利息	8	9
その他	4	2
営業外費用合計	12	11
経常利益	2,298	1,615
特別利益		
その他	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	17	84
貸倒引当金繰入額	24	-
特別損失合計	41	84
税金等調整前四半期純利益	2,258	1,531
法人税、住民税及び事業税	405	221
法人税等調整額	226	227
法人税等合計	632	449
四半期純利益	1,626	1,081
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	41	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,584	1,119

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,626	1,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△230	△61
為替換算調整勘定	△131	412
退職給付に係る調整額	△2	△6
その他の包括利益合計	△364	344
四半期包括利益	1,262	1,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,280	1,311
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	18,026	3,530	185	21,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,026	3,530	185	21,742
セグメント利益	1,922	47	123	2,093

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	19,719	4,084	184	23,988
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	19,719	4,084	184	23,988
セグメント利益又は損失(△)	1,497	△169	109	1,437

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。